令和 6年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 健康長寿課
 担当名: 母子保健担当
 内線: 3576

(単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
S82	新ウェルカムベイビープロジェクト			一般会計	衛生費	公衆衛生費	母子衛生費	不妊治療助成費		
事業期間	令和 5年度～	根拠法令	少子化対策基本法 第13条 成育基本法 第5条 母子保健法第5条、9条			針路	04	子育てに希望が持てる社会の実現	SDGsゴール	3
						分野施策	0401	きめ細かな少子化対策の推進	SDGsターゲット	3-1, 3-2
1 事業概要	妊娠、出産、不妊に関する正しい知識を思春期の段階から習得を目指し、各々のライフステージに合わせて適切な時期に妊娠、出産を実現できるよう支援する。 不妊・不育症検査費助成事業 18,164千円			5 事業説明 (1) 事業内容 希望する方が妊娠・出産を実現できるよう、若いうちから妊娠・出産や自身の健康に関する正しい知識を持ち、自身の健康管理を意識する「プレコンセプションケア」の推進を図るため、普及啓発及び相談支援を実施する。 不妊・不育症検査費用の一部を助成し、早期に検査を実施できるよう支援する。 ア プレコンセプションケア普及啓発事業 2,484千円 イ 相談支援事業 12,880千円 ウ 相談支援スキルの強化 763千円 エ 関係機関の連携強化 334千円 オ 不妊・不育症検査費助成事業 102,345千円 (2) 事業計画 ア プレコンセプションケア普及啓発事業 ・健康教育(出前講座)の実施 ・プレコンセプションケア研修会 ・県民向け公開講座 イ 相談支援事業 ・不妊専門相談センター事業 ・プレコンセプションケア相談センター ・不妊症・不育症等ピアサポートセンター ウ 相談支援スキルの強化 関係者を対象としたグリーンケアに関する研修会を実施 エ 関係機関による協議会の設置 オ 不妊・不育症検査費助成事業 (ア)不妊検査費助成 3,317件 (イ)不育症検査費助成 398件 (3) 事業効果 【活動指標】: 出前講座40件、各種相談窓口設置、研修会・連携会議の実施、不妊検査3,317件、不育症検査398件 【成果指標】: 若いうちから将来の妊娠や心身の健康管理を意識し、望む人が望むときに妊娠出産を実現できる。 (4) 補正予算の概要 不妊検査費助成件数の増加による増額						
2 事業主体及び負担区分	(県10/10)市0									
3 地方財政措置の状況	なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員	9,500千円×0.8人=7,600千円									
予算額		財 源 内 訳						一般財源	補正後の 予算額	
決定額	18,164	国庫支出金						18,164	118,806	
現計額	100,642	8,141						92,501		

事業内訳書

事業名	新ウェルカムベイビープロジェクト		
単位事業名	不妊・不育症検査費助成	予算額	18,164千円

○歳入

(単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	18,164	—	
合計	18,164	—	

○歳出

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
需用費	△29	—	消耗品費の減
役務費	△7	—	通信運搬費の減
負担金、補助及び交付金	18,200	—	不妊検査費助成 778件 不妊検査費助成 35歳未満加算 264件
合計	18,164	—	